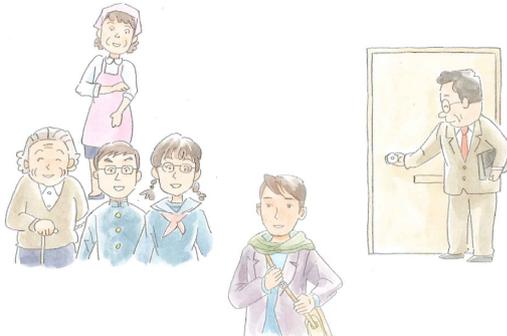


生きているのが苦しい。死にたい



都内のB区に住むAさんは、身長175cm、体重60kgの20歳の男性です。(BMI 19.59) Aさんは、D県で健康な赤ちゃんとして誕生、公立の幼稚園から高校までを自宅から通って卒園、卒業し、現在は、都内の大学の工学部に通う大学2年生です。将来は、システムエンジニアとして働く希望を持っています。



出身地であるD県の実家には、祖母、父母、妹(高校3年)、弟(高校1年)が住んでいます。躁うつ病だった祖父は、既に他界しています。なお、父親は、県外に単身赴任中で、母親は、パートに出ています。



昨年10月中旬の後期の授業が始まってから授業に全く出てこなくなりました。Aさんを心配した友人が携帯電話に何度かけても出ず、メールをしても返信がありません。心配した友人がアパートを訪ねたところ、部屋中にゴミが散乱し、カップ麺のカラやビールの空き缶が散らばっていました。

4



部屋を訪ねた友人の問いかけに「もう死にたい。自分なんかいない方が」という意味合いの言葉を繰り返すのみでした。それだけでなく、手首には刃物で切ったような傷の跡や、首の周りには茶色くなった跡が残っていました。友人の電話により駆けつけたAさんの両親とともに都内のC病院の精神科を受診しました。

5



診察中にも何度も「もう死にたい」という言葉を繰り返していました。診察の結果は、「気分障害」との診断で、そのまま入院することになり、病棟に到着直後から鍵のかかる個室(観察室)に入院となりました。入院形式は、本人の同意に基づく任意入院となりました。

6

- 食事…まるで砂を噛んでいるような感じがする
- 排泄…あんまり出ない
- 飲酒…お酒を飲まないと眠れない。途中で何度も目が覚める
- 入浴…ここ半月、入浴する気になれなかった



Aさんは、食事、排泄、飲酒、入浴について表の様に言っています。

7

■ 服薬の内容

- パキシル10 mg × 3回 朝・昼・夕
- デジレル25mg × 3回 朝・昼・夕
- 寝る前 エバミール(1mg)
- 不眠時 ソラナックス 0.4mg



服薬の内容は、表の様になっています。

8



入院して2か月目には、認知療法が開始になりました。また、入院3か月目には、作業療法に参加を開始しました。

9



3ヶ月が経った1月下旬に退院となりました。大学復帰には、もう少し時間がかかるというのが主治医の考えで、Aさんは退院と同時にD県の実家に帰りました。まだ心の中では「死にたい」という気持ちはあるようです。C病院の主治医より、D県のE病院への紹介状を書いてもらい、実家に居る間はE病院での受診とデイケアセンターに通所することになりました。その結果、抑うつ気分も若干楽になったようです。服薬はずっと続けています。

10



もともと真面目な性格で、どちらかと言うと無口で正義感が強く、周囲への気配りができる子。小学校から高校まで長期欠席をしたこともなく、風邪を引いても頑張って通学した。中学校の時にいじめに遭っている友人をかばったことで自分もいじめに遭ったが、それでも休まずに登校した。小学校から高校まで野球部に所属し、特定の数人の友人と長く交友関係が続いているようだ。

11

「こんなにいい子が何でこんなになってしまったんでしょう？ それにあんなに痩せちゃって…私がもう少し気を配っていたら良かったんでしょうか」

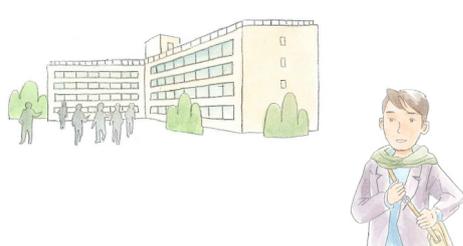
「そもそも私はAを東京に出すのは反対だったんですが、お父さんが賛成したから仕方なく…」

「とにかく、お父さんが単身赴任だから私がしっかりしないと…。おばあちゃんもとっても心配しています。とにかく早く元気になって欲しいです」



母は、胸中を表の様に語っています。

12



Aさんは、いよいよ4月から大学に復帰することになりました。D県のE病院の主治医から都内C病院の主治医へ、この間の状況が書かれたサマリーには、抑うつ気分は少しよくなったものの、自己評価は低いままと報告されています。

Aさんが、本来の自分へ近づき、有意義な学生生活を送っていただけるように支援するにはどのようなことが考えられますか。

13

QOL向上を目指す専門職間連携教育用教材

生きているのが苦しい。死にたい

制作著作 Copyright © 2011
「QOL向上を目指す専門職間連携教育用モジュール中心型カリキュラムの共同開発と実践」
(文部科学省 平成21年度 戦略的大学連携支援事業採択事業)
新潟医療福祉大学・埼玉県立大学・札幌医科大学・首都大学東京・日本社会事業大学

原案 Portions Copyright © 2011
金谷光子・甲田充・西川薫(新潟医療福祉大学)

14
